

# おうちで手あて

## お医者さんが教える身近なものを使った手あて

子どもはたくさん病気をします。子どもが病気になった時、お医者さんに連れて行くまでにお母さんができることはないでしょうか。急な腹痛、夜の発熱、咳など、どんな点に注意してとりあえずの手当てができるでしょうか。

「お医者様」と「お母さん」両方の視点から、子どもの病気についてお話していただき、家庭にあるものを使っての心と体にやさしい手当を学びます。

## 講師 藤原 葉子

プロフィール 1968年岐阜県生まれ。1994-2000年 三井記念病院麻酔科勤務。長女の出産を期にシュタイナー教育と出会う。2000年北海道へ移住。シュタイナー教育と本格的に関わるようになる。2006年長野で行われた第3回国際アントロポソフィー医学セミナーに出席し、アントロポソフィー医師となることを決意する。2007年より札幌で病院に勤務し現在緩和ケアを中心に診療している。

「札幌アントロポソフィー医学に基づく健康相談の会」主催。シュタイナー教育をめざす「子ども園にじの子」理事。高2、中3、小6育ち盛りのお母様。

とき 11月3日(祝) 受付 13:00 開演 13:15 終了 15:30

ところ 仙台市市民活動サポートセンター 4F 研修室5

定員 30名 参加費 500円 要申込 整理番号をさしあげます

(託児はありません。お子さんをお連れになつてのご参加は、事前に必ずご相談ください。)

申込 10月30日(水)までに 1.お名前 2.ご住所 3.電話 (Fax) 4.メールアドレスを明記し  
<http://kusanonesendaiss.web.fc2.com/index.html>のメールフォーム、または  
Fax. 022-786-5065 (9時~20時) まで。定員で締め切ります。  
携帯の方はPCメールの受信を可能に設定してください。

この企画は東日本大震災後の草の根仙台シュタイナー学校の活動を支援する  
スイス/ドルナッハ、ドイツ/アドルスホーフからの支援金によって催されます。

草の根仙台シュタイナー学校は、子どものための土曜クラスです。  
1997年に始まって以来、子どもと大人の学びの場として仙台で活動しています。

人間が人間として育てられるために。  
人を愛し、いのちをはぐくむために。  
人生が実り豊かなものになるために。

### シュタイナーの医学

ルドルフ・シュタイナー(1861-1925)の人間観に基づく思想は、さまざまな社会実践の中で生きています。最初のシュタイナー学校が1919年にドイツのシュトゥットガルトで開校し、医療の分野では1921年にスイスで、イタ・ヴェークマン・クリニックが始まりました。経済の分野では、ポッフムの銀行が、そしてバイオダイナミック農場は安全でおいしい食品を供給しています。

シュタイナーの医学では、全人的な人間を診ます。現代医学で用いる診断に必要な方法に加え、体質、体型、ものの感じ方、動作の特徴、家庭や仕事の環境、生育歴、生活歴、病歴も診断のための大切な要素になります。たくさんの観点から患者さんの体のバランスや、機能的な働きを判断し、治療方針を決めます。人間は個的な存在です。同じ病気でも原因や経過は違いますから、治療のあり方も一人ひとり違います。治療は、シュタイナーの薬学に基づく医薬品、物理療法、オイリュトミー療法、芸術療法などから成り立っています。

シュタイナーの医療を行う医師は、現代医学の知識と技能を持っていることが前提です。近年現代医学の発展は目覚しく、身体的側面における診断はより詳細なものへと発展しています。シュタイナーの医学は現代医学に取って代わるものではありません。現代医学に新たな診断と治療の可能性を与えるものです。

シュタイナーの医療は現在ドイツを中心に欧・米・豪 60以上の国々で行われています。日本でも、国際アントロポソフィー医学ゼミナールが始まり、その後、薬剤師、看護師のゼミナールも始まりました。現在日本各地の医療現場で医師、看護師、薬剤師、芸術療法士、オイリュトミー療法士による実践が始まったところです。

### 2012年度 草の根仙台シュタイナー学校 クラス会員募集

小学生クラス エホック授業 水彩 オイリュトミー  
幼児クラス 保育 オイリュトミー(3歳以上未就学児)  
クラス見学 入会を希望される方にはクラス見学をお勧めします。  
準備がありますので、お早めにご連絡ください。(見学会費2千円)  
【問合せ先】Tel. Fax. 022-374-8253 (20時まで)